

錦華公園改修整備

錦華公園は、関東大震災後の震災復興公園として整備され、昭和4年に開園し、昭和42年の全体的な大改修より約50年、近隣のみなさんの憩いの場として親しまれています。現在、錦華公園では、隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替え工事にあわせて改修整備を計画しています。

改修整備においては、より一層地域の方々や公園利用者に愛される公園となるよう、オープンハウス（意見聞き取りの場）や意見交換会を開催し、地域のみなさん・利用者のみなさんと一緒に、計画案を考えていきます。

錦華公園の概要



所在地：千代田区神田猿楽町一丁目1番2号

面積：2,759 m²

- ・大正13年（1924年）換地確定（震災小公園として小学校とともに建設することが決まる）
- ・昭和4年（1929年）開園 震災復興小公園として東京市が整備
- ・昭和25年（1950年）千代田区に移管
- ・昭和42年（1967年）公園改修整備
- ・平成5年（1993年）お茶の水幼稚園暫定設置
- ・平成15年（2003年）トイレ改修整備

※震災小公園とは？

- ・大正12年の関東大震災後、東京市が帝都復興計画に基づき被災区域内52箇所に都市計画的に整備した街区公園
- ・鉄筋コンクリート化により不燃化、耐震化された小学校に併設して設置
- ・小学校の運動場補助、地域の休養施設、避難施設、延焼防止機能等も兼ね備えた公園

お茶の水小学校・幼稚園の整備概要



敷地面積 4,850 m²

構造・階数 RC造 地上6階地下2階

延べ床面積 約13,500 m²

容積率 約280% (500,600%)

最高高さ 普通教室（猿楽通り沿い）側 23.95m

特別教室（錦華公園）側 31.61m

階構成 1階 幼稚園、アフタースクール

2階 小学校校長室、職員室、アフタースクール、多目的ホール

3階 小学校普通教室、特別教室

4階 小学校普通教室、特別教室

5階 小学校普通教室、特別教室

6階 プール

地下1階 給食調理室

地下2階 体育館

幼稚園 猿楽通りから園庭（ピロティ）を通り1階入口へ
小学校 猿楽通りから2階アプローチデッキを通り昇降口へ

今後のスケジュール（予定）

令和元年度～令和2年度：整備内容の検討および設計

令和3年度～令和4年度：整備工事（予定）

今後の整備内容の検討については、令和2年9月～令和3年1月に意見交換会を3回予定しています。

日時・場所・内容等については、区のホームページや広報千代田などでお知らせしていくので、ご覧ください。

意見交換会（予定）

9月：整備方針の確認、ゾーニング案の提示

11月：計画案の提示

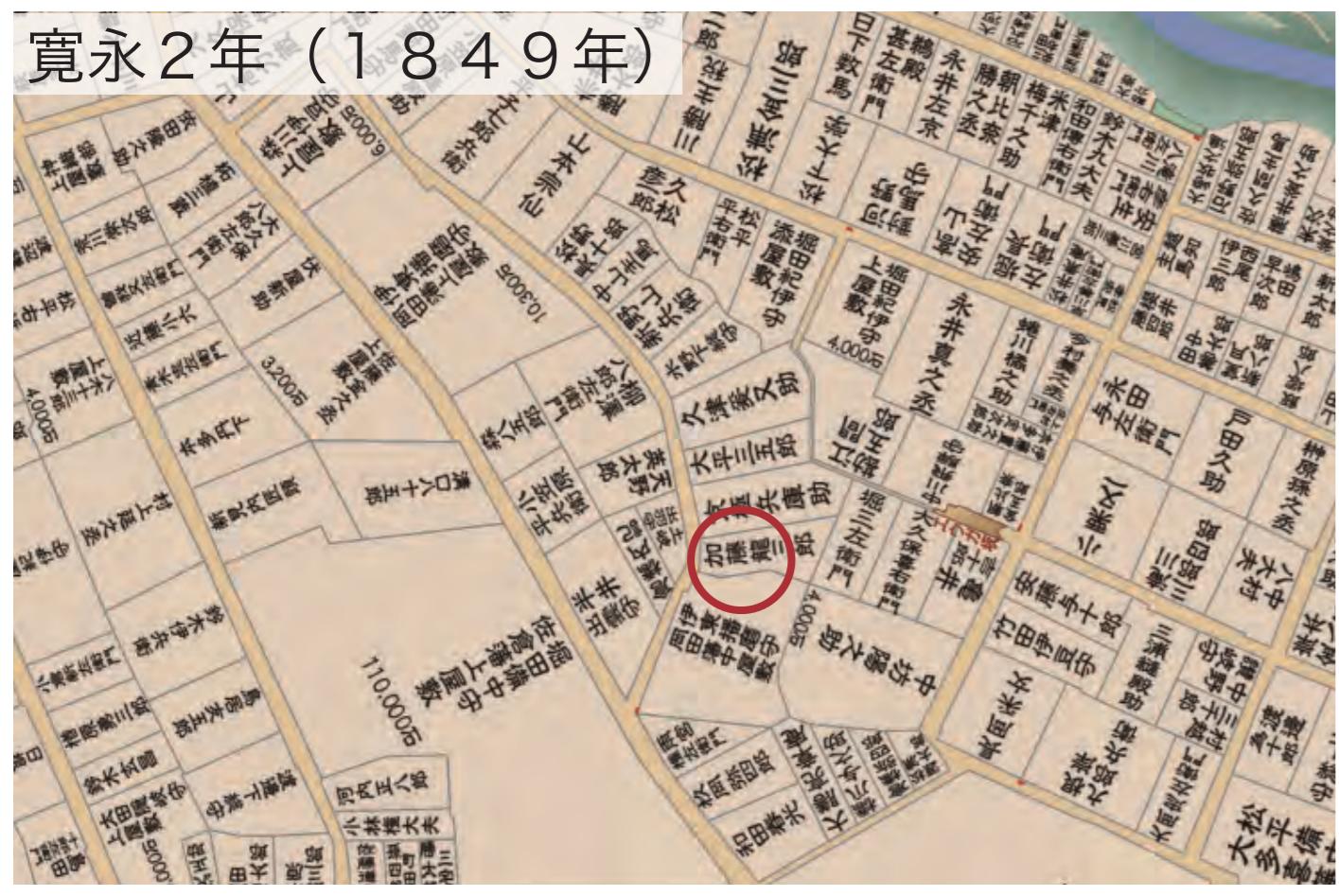
1月：各施設の具体案の提示

実施設計

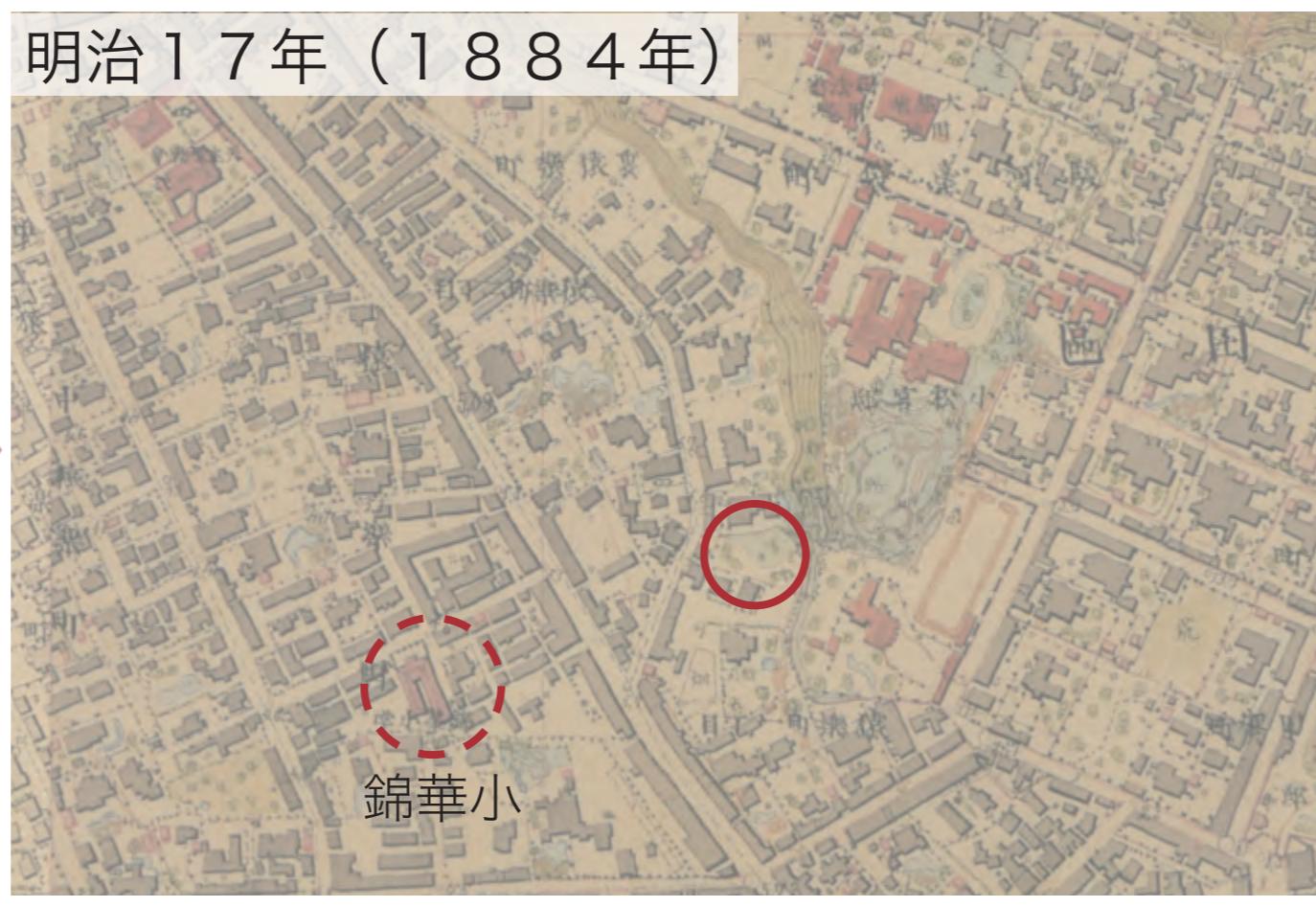
※意見交換会は、新型コロナウイルスの状況によって、延期・中止になる可能性もあります。

錦華公園の歴史

錦華公園 開園前の様子



周辺は、おもに武家屋敷が軒を連ねていた。



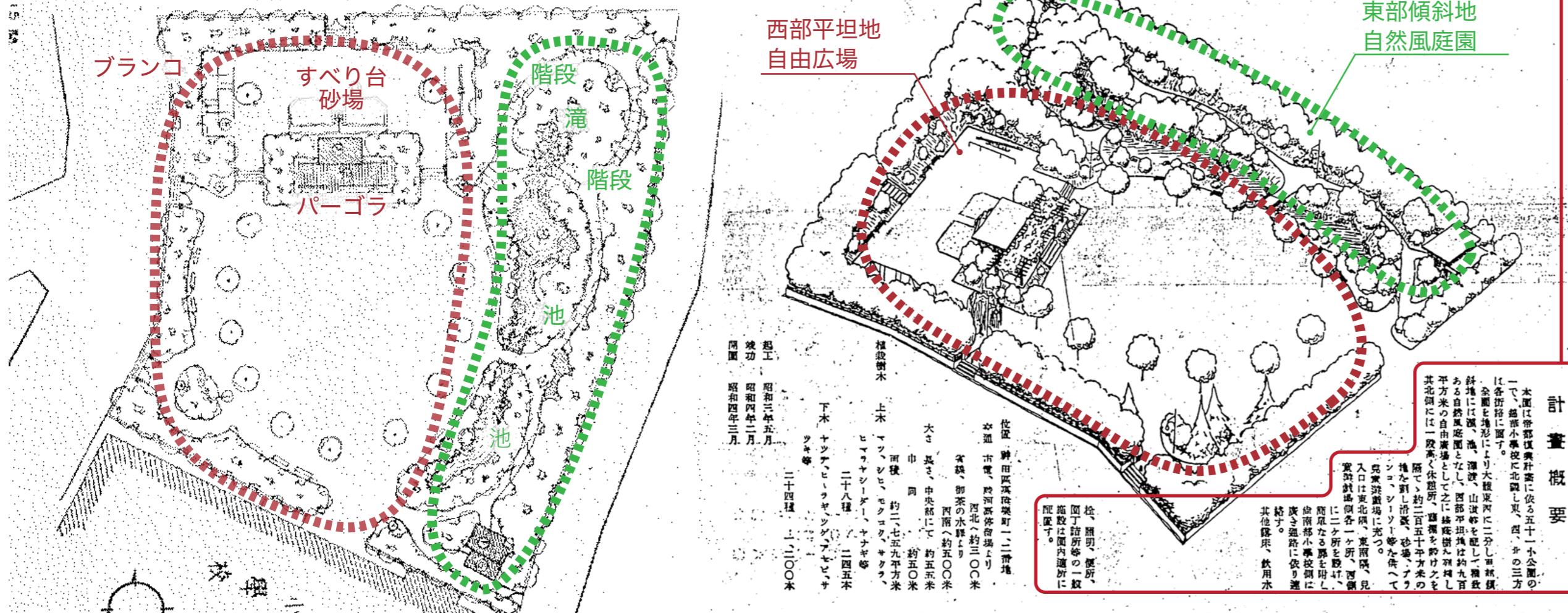
小松宮邸の庭園の一部、もしくは個人所有地であった。



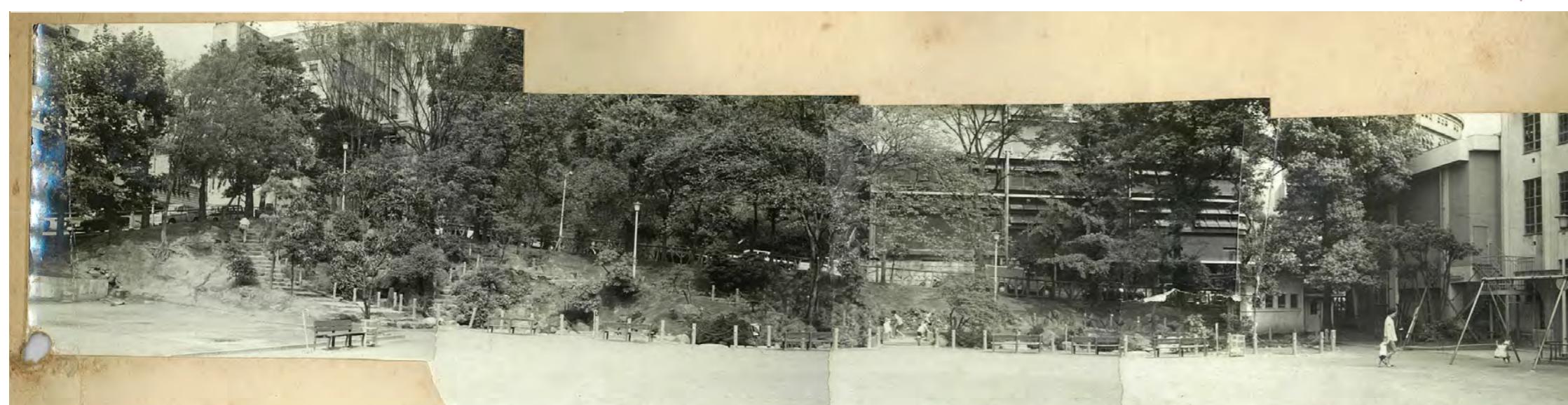
個人所有地となっている。

錦華公園 開園後の様子

昭和4年（1929年）開園当初



昭和4年～昭和42年の写真



計画概要

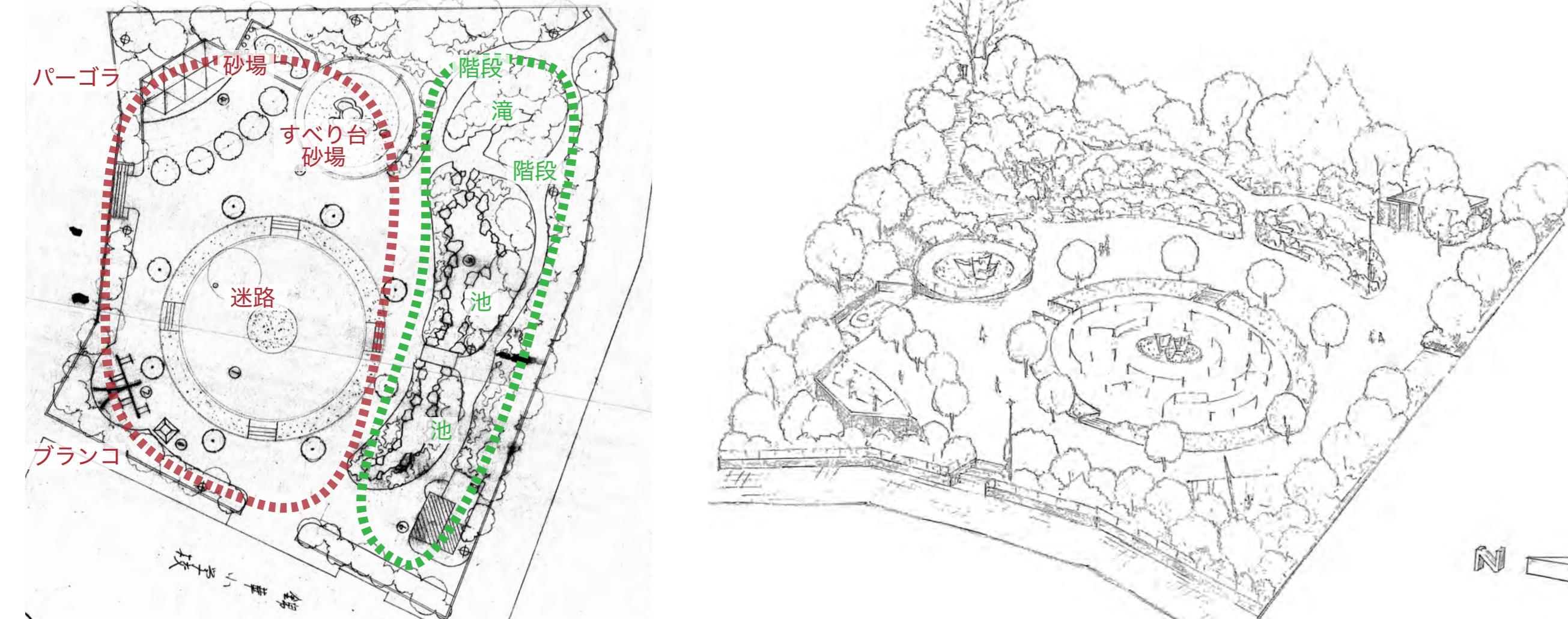
本園は、帝都復興計画による51小公園の1つで、錦華小学校に北○し、東、西、北の三方は各街路に面す。
全園を地形により大体東西に二分し、東部傾斜地には滝、池、沢渡、山道等を配して雅致ある自然風庭園となし、西部平坦地は約900平方メートルの自由広場としてこれに緑蔭樹を配列し、その北側には一段高く休憩所、○○を設け、これを隔てて約250平方メートルの○を配し、滑り台、砂場、ブランコ、シーソー等を供へて児童遊戯場に充つ。

入口は、東北隅、児童遊戯場側各1箇所、西側に2箇所を設け、籠單なる扉を附く。なお南部小学校側は広き通路に依り連絡す。その他露床、飲料水栓、照明、便所、園丁詰所等の一般施設は園内適所に配す。

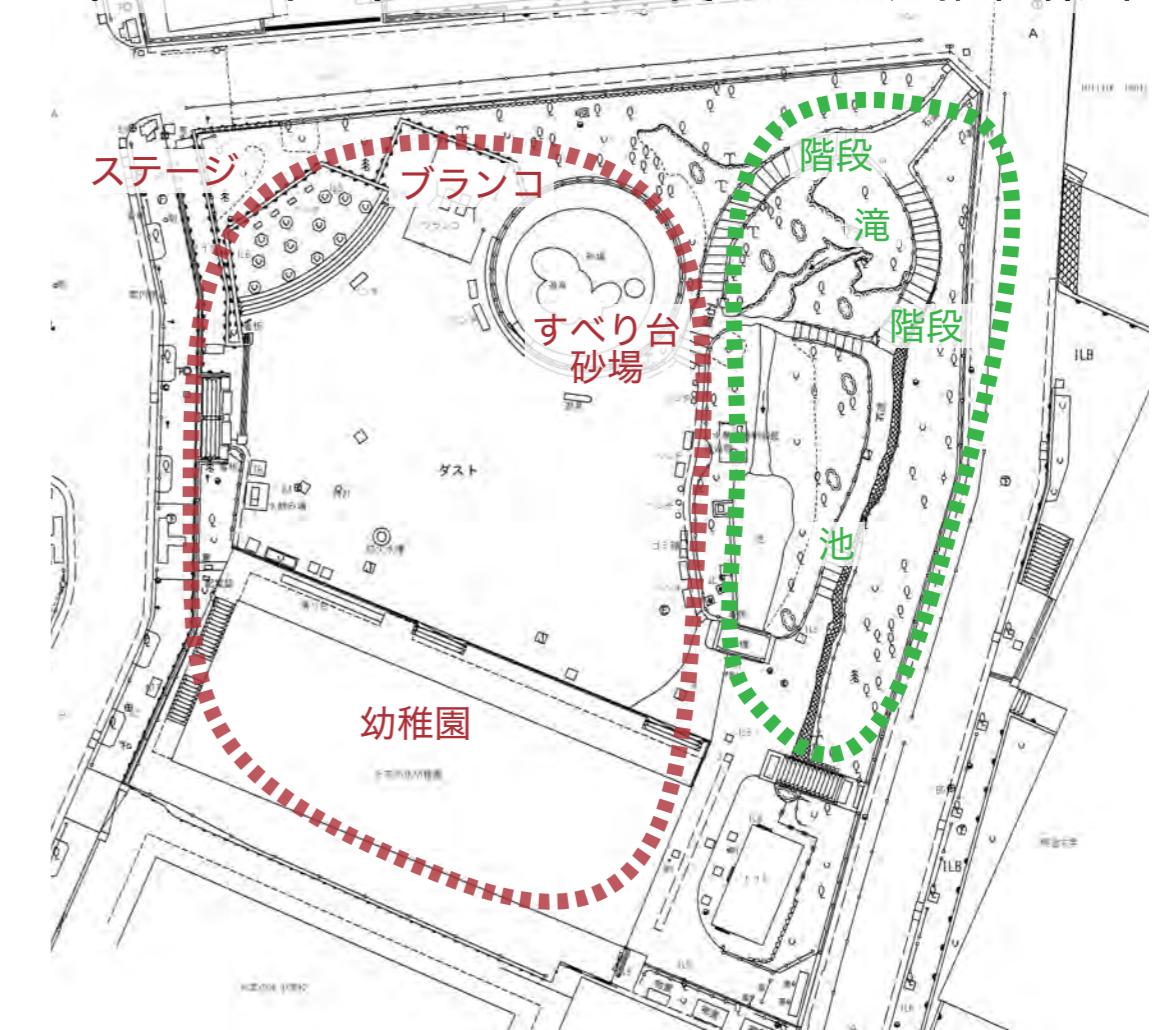
※○は、資料が不鮮明なため読み取れない文字です。



昭和42年（1967年）公園改修



平成5年（1993年）～幼稚園仮園舎設置



震災復興小公園として、開園した当初は、東部傾斜地を自然風庭園、西側平坦地を自由広場として計画されている。
今まで、東部傾斜地は自然風庭園の面影を残しながら、西側の自由広場は、時代に合わせ形や使い方が変化している。

調査結果

錦華公園の周辺の地域のみなさまへアンケート調査を行いました。また、お茶の水小学校・幼稚園にもこどもアンケートを配布しました。

地域アンケート調査結果

対象者：公園近隣 4 町会 配布数：3,414 通 回答数：580 通 回答率：約 17%

Q. 錦華公園の利用頻度は？

→子どもは“月に数回以上”的利用が 80%、大人も約 40% と利用頻度は高く、幅広い世代に利用されています。

Q. 望ましい錦華公園の改修規模は？

→“全面的改修”、“部分的改修”について、概ね同数の意見でした。

Q. 錦華公園の樹木について

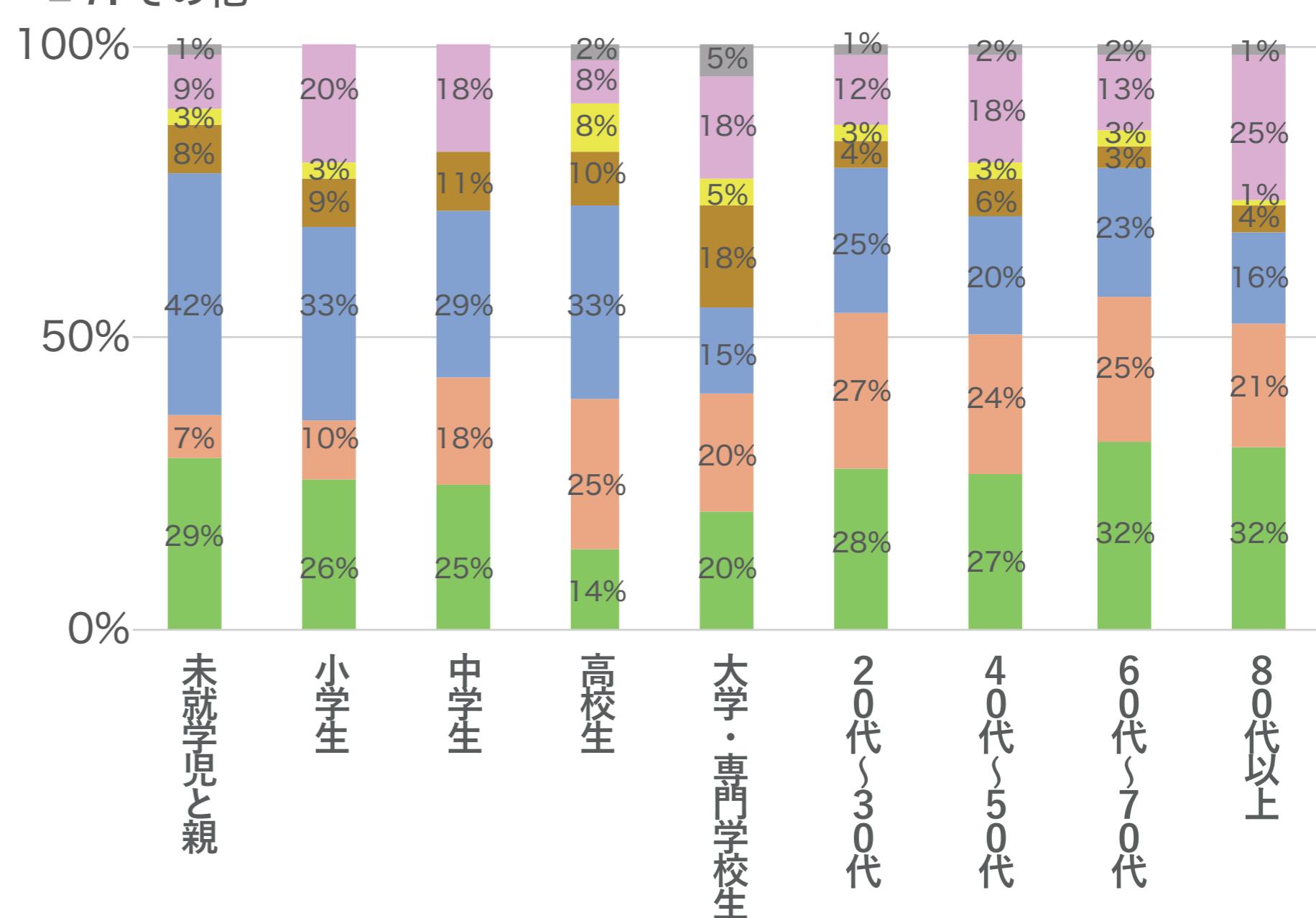
→“なるべく残した方がよい”、“専門家の意見を基に整理”的 2 つの意見が多い傾向にありました。

Q. 将来錦華公園をどのような公園にしたいですか？

→各世代とも“子供たちが安全に遊べる”、“自然と触れ合える”、“休憩やみんなが憩える”、公園を望まれる意見が多い結果となりました。（右グラフ）

質問【どんな公園にしたいですか】

- 1. 緑豊かで自然と触れ合える公園
- 2. 休憩やみんなが憩える公園
- 3. 子どもたちが安全に遊べる公園
- 4. スポーツや健康づくりのできる公園
- 5. イベントもできる広場のある公園
- 6. 災害時に活用できる公園
- 7. その他



こどもアンケート調査結果

対象者：お茶の水小学校・幼稚園児童 回答数 138 通

Q. 錦華公園にほしい遊び場はなんですか？

→全学年とも“アスレチック遊具”がほしいという意見が多い結果となりました。

Q. 錦華公園をどのような公園にしたいですか？

→低学年は“遊具で遊べる公園”的意見が多く、高学年になると“水と触れ合う”や“のんびりできる”など多様な意見となっていました。

Q. 新しい錦華公園を描いてみよう。

→たくさんのかどもたちが、みんなが遊びたくなる公園を色鮮やかに描いてくれました。
(右に絵の一部を紹介します)



第1回意見交換会

日時：令和元年 12 月 16 日（月）18:00～20:00

場所：神保町出張所 座長：東京大学大学院 中井 祐 教授

全体

- 今のみどりや地形を活かした公園にしてほしい
- 見通しが良く安心安全な公園にしてほしい
- 遊び場や休憩施設を増設してほしい

色分け

課題

意見要望

斜面地

- 昔から滝や斜面を使って遊んでいた
- 動物や昆虫等の住処となっている

- 今の自然・地形を活かした整備を希望
- できる限りのバリアフリー対策がほしい
- 斜面地を活かした遊び場を整備してほしい

滝・池

- 池は子供たちが生物や自然と触れ合う場
- 流れのない滝はアスレチック的な遊び場

- 水が汚い
- 昔に比べ生物が少ない

- 生物多様性（ビオトープ）にしてほしい
- 滝を復活してほしい
- じゃぶじゃぶ池がほしい

ステージ

- たまり場になっている
- ステージでなくても、集まる場は欲しい
- 屋根のある休憩スペースがほしい

広場

- 水はけが悪い
- 遊具を増やしてほしい
- 芝生の部分がほしい
- 幼児が遊べる遊具がほしい
- アスレチックがほしい

小学校との連続性

- 小学校との連続性を確保してほしい
- 学校と一体となった防災機能を確保してほしい

トイレ

- 汚い、暗い、視認性が悪い
- きれいいで安全なトイレがほしい

その他

- 花が少ない
- 地域の倉庫を設置してほしい



※上図は、意見交換会とアンケート調査の結果をまとめたものです。